

成都工学院图书馆

132344

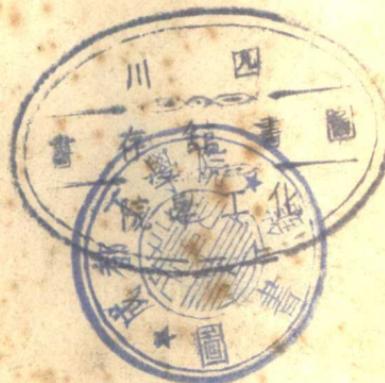
基本館藏

蘇聯醫學介紹叢書

中 毒 和 急 救

O. И. 格拉查娃著

周 邦 錫 譯



北京健康書店出版

—1953—

蘇聯醫學介紹叢書

中 毒 和 急 救

O. И. 格拉查娃著

周 邦 錫 譯

北京健康書店出版

—1953—

不准翻印

蘇聯醫學介紹叢書——

中毒和急救

著者: О. И. Глаша娃

Отравления и первая помощь при них

(Москва 1952)

譯者: 周邦錫

出版: 健康書店

北京市書刊出版許可證: 出035號

北京市東四北大街七十一號

電報掛號: 北京3110號

1953年8月初版

印數 1—3000

畫號: 0034

定價 8,000 元

譯 者 的 話

本書為蘇聯新近出版物之一，在短時期內因醫務工作者的迫切需要再版，在我國到目前為止，現在尚無是類書籍出版。

是書所載，盡屬重要而普通的毒物，而且在我國亦常見是類中毒的發生。

本書的特點是：對中毒的症狀，急救和治療，敘述特別詳盡，有的材料在我國各種內科及藥物學中尚未有記述如本書詳盡者。

本書各藥的中國名稱，全部根據標準譯名，唯有少數名稱未經公佈者由譯者自擬譯名並註俄文於其後。

本書承陳新謙、鮑飲冰同志校正，特此誌謝。

因譯者非毒物學專家，難免無錯誤，希望讀者多提意見，俾得於改版時修正是幸。

譯 者

1955年6月於北京

第一版原序

鑑於目前醫務工作者的要求和保健員的任務，本書以簡單的方式，敘述各種急性中毒時的症狀和急救的方法而出版。

為了能迅速確定中毒以後的診斷，特製成兩個表，即（1）主要症狀一覽表，（2）重要解毒藥一覽表，俾讀者能一覽而即明瞭。

根據作者多年的研究經驗，本書所述只限於急性中毒中的某一特別部份而已。

本書並不希望作教科書看待，但如對醫生們在急性中毒中能迅速指出救助的道路，我們的目的也就算達到了。

作者

第二版原序

由於醫務工作者的需要，「中毒和急救」一書第二版的修訂和出版工作，必需在較短時間內完成。

根據作者的經驗和廣大醫務工作者的需要，作者把本書第一版作了適當的修正和補充。

由於蘇聯勞動人民生活條件的提高以及預防中毒知識的普及和發展，所以在蘇聯中毒的情形非常少。

為了使各專科醫務工作者獲得更有用的參考資料起見，所以很迅速的將本書第二版加以出版。

作者

內容提要

本書裏面，對於各種中毒，包括藥物和其他的中毒，無論在症狀，急救和治療方法方面都作極詳細的敘述。第一編並用表格來表示各種中毒的症狀和解毒藥。第二編中則分別對218種毒物作分別的敘述，本書在蘇聯是供保健員用的，在我國也可以供一般醫務工作人員及保健人員的用。

32 開 162 定價頁 99,000 字

目 錄

第一編 總 論

主要症狀.....	1
重要解毒藥.....	9
對症治療.....	14
中毒的預防.....	17

第二編 各 論

§ 1. 阿大林.....	18
§ 2. 腎上腺素.....	18
§ 3. 硝酸.....	18
§ 4. 硝酸銀.....	21
§ 5. 黃阿拉伯膠.....	21
§ 6. 烏頭.....	21
§ 7. 阿的牛阿克利新.....	22
§ 8. 酒(酒精).....	22
§ 9. 甲酒精.....	23
§ 10. 蘆薈.....	24
§ 11. 苦杏仁苷.....	24
§ 12. 亞硝酸戊酯.....	25
§ 13. 安密妥鈉.....	25
§ 14. 銨.....	25
§ 15. 安拉沙.....	25
§ 16. 苯胺.....	25
§ 17. 鋼.....	26

§ 18. 去污劑.....	26
§ 19. 醋醯苯胺.....	26
§ 20. 抗凝凍劑.....	26
§ 21. 安替比林.....	27
§ 22. 阿朴嗎啡.....	28
§ 23. 阿列鈉.....	28
§ 24. 芬胺亞砷酸鈉.....	28
§ 25. 阿託方.....	28
§ 26. 阿托品.....	29
§ 27. 乙炔.....	30
§ 28. 巴巴密(安密妥鈉).....	30
§ 29. 銅.....	30
§ 30. 秋水仙.....	31
§ 31. 顛茄.....	32
§ 32. 菲沃斯葉(貞若葉).....	32
§ 33. 漂白粉.....	32
§ 34. 石油精.....	32
§ 35. 苯.....	32
§ 36. 氫酸鉀.....	33
§ 37. 毒芹.....	34
§ 38. 歐烏頭.....	34
§ 39. 硼酸.....	34
§ 40. 臘腸中毒.....	35
§ 41. 漢.....	36
§ 42. 漢仿.....	36
§ 43. 漢異戊醯脲.....	36
§ 44. 藥蘆素.....	37
§ 45. 佛羅拿.....	37

§ 46.	水毒芹	38
§ 47.	笑氣	38
§ 48.	毒氣(毒瓦斯)	38
§ 49.	印度大麻脂	39
§ 50.	癰瘡木酚	39
§ 51.	海洛英	39
§ 52.	對苯二酚	39
§ 53.	菲沃斯素(莨菪鹼)	39
§ 54.	乙二醇	39
§ 55.	側金盞花(福壽草)	39
§ 56.	芥子油	39
§ 57.	苦杏仁	40
§ 58.	毒蕈茸	40
§ 59.	洋地黃	41
§ 60.	地卡因	41
§ 61.	狄奧寧	42
§ 62.	二氯乙烷	42
§ 63.	木精	42
§ 64.	杜耳精	42
§ 65.	曼陀羅	42
§ 66.	氯水	42
§ 67.	黃血鹽	42
§ 68.	一氧化氮	42
§ 69.	法國綠	42
§ 70.	蛇毒	42
§ 71.	石灰	43
§ 72.	印度大麻	43
§ 73.	因素林(胰島素)	43

§ 74.	碘.....	44
§ 75.	吐根.....	45
§ 76.	苛性鉀.....	45
§ 77.	甘汞.....	45
§ 78.	樟腦.....	45
§ 79.	斑蝥.....	46
§ 80.	毒蜘蛛.....	46
§ 81.	石炭酸.....	46
§ 82.	苛性蘇打.....	47
§ 83.	火油.....	47
§ 84.	銀朱.....	47
§ 85.	蓖麻.....	47
§ 86.	陰溝氣.....	48
§ 87.	昆蟲噴劑.....	48
§ 88.	可待因.....	48
§ 89.	古加因.....	48
§ 90.	腐敗毒.....	50
§ 91.	秋水仙鹼.....	50
§ 92.	毒芹素.....	50
§ 93.	咖啡因.....	50
§ 94.	赤血鹽.....	50
§ 95.	木馏油.....	50
§ 96.	克遼林.....	50
§ 97.	烈酒.....	51
§ 98.	巴豆油.....	51
§ 99.	鼠毒.....	51
§100.	茅草.....	51
§101.	印防己科植物.....	51

§102.	硫酸銅	52
§103.	粗製硫酸	52
§104.	拉克脫芬青	52
§105.	鈴蘭(君影草)	52
§106.	濱藜	52
§107.	來沙兒	52
§108.	魯未那	52
§109.	硝酸銀棒	53
§110.	馬里兒	53
§111.	過錳酸鉀	53
§112.	麥角	53
§113.	銅	55
§114.	美地拿	56
§115.	麥苦索耳	56
§116.	甲醇	56
§117.	苦扁桃	56
§118.	米耳班油	56
§119.	哥薩克杜松	56
§120.	嗎啡	57
§121.	毒蕈素	58
§122.	肥皂根	58
§123.	砷	58
§124.	三氯化砷	61
§125.	苛性鈉	63
§126.	臭砷酸鈉	63
§127.	石腦油精	63
§128.	氯水	63
§129.	新酒爾佛散	63

§130. 煙鹼(菸鹼).....	64
§131. 亞硝酸鹽.....	74
§132. 硝基苯.....	65
§133. 硝酸甘油.....	66
§134. 諾伐蘇羅.....	66
§135. 一氧化炭.....	66
§136. 全鴉片鹼.....	70
§137. 鴉片.....	70
§138. 奧普透青.....	70
§139. 阿薩素爾.....	70
§140. 綿馬.....	70
§141. 錢酸.....	71
§142. 必苦酸.....	71
§143. 披拉米董.....	71
§144. 印防己毒素.....	71
§145. 地羅卡品.....	72
§146. 焦性沒食子酸.....	72
§147. 兒茶素.....	72
§148. 食物中毒.....	73
§149. 摟瘡母星.....	75
§150. 毒麥.....	76
§151. 蟬蠅粉.....	76
§152. 四季櫻草.....	76
§153. 尸毒.....	76
§154. 金雀花.....	76
§155. 吐酒石.....	77
§156. 番木蔻.....	77
§157. 雷蕩辛.....	77

§158. 水	30
§159. 魚毒	82
§160. 薩巴地拉	82
§161. 檬	82
§162. 水楊酸	82
§163. 薩羅	82
§164. 酒爾佛散	82
§165. 蝋蒿素	84
§166. 煤氣	84
§167. 鉛	85
§168. 銀及其鹽類	88
§169. 硫酸	88
§170. 硫化氫	88
§171. 雜醇油	88
§172. 氫氰酸	89
§173. 新愛斯托爾	91
§174. 松節油	91
§175. 東莨菪鹼	91
§176. 蝎子	91
§177. 催眠劑	91
§178. 鹽酸	92
§179. 番木蘿素	92
§180. 毒毛旋花子(康毗箭毒子)	94
§181. 磷胺製劑	94
§182. 索佛拿	96
§183. 錦	96
§184. 煙葉	97
§185. 鈷及鹽類	97

§186. 笛耳摩卜西.....	97
§187. 甲狀腺素.....	98
§188. 松.....	98
§189. 四乙鉛.....	98
§190. 三硝基苯酚.....	99
§191. 煤氣.....	99
§192. 碳酸氣.....	100
§193. 四氯化炭.....	100
§194. 醋酸.....	101
§195. 毒昆蟲刺傷.....	102
§196. 蛇咬傷.....	103
§197. 鈾.....	103
§198. 非那西汀.....	103
✓ §199. 酚.....	103
§200. 毒扁豆素.....	103
✓ §201. 佛馬林.....	104
§202. 煙.....	104
§203. 氟.....	106
§204. 奎寧.....	107
✓ §205. 氣.....	108
§206. 水合氯醛.....	110
§207. 氯乙烯.....	111
§208. 硝基氯仿(氯化苦).....	112
§209. 氯仿.....	113
§210. 鉻酸.....	114
§211. 王水.....	114
§212. 氰酸鉀.....	114
§213. 毒芹毒素.....	114

§214.	鋅.....	114
§215.	巴黎綠.....	115
§216.	草酸.....	115
§217.	苛性鹼.....	116 ✓
§218.	醋.....	116 ✓

第一編

凡能引起整個機體功能發生障礙的任何疾病，皆稱中毒。

普通將發生中毒的外來物質，稱為毒物。

中毒時，毒物使機體發生特殊病理改變，此種改變與機體受特殊刺戟時所發生的反應相似。

毒物有兩類：

1. 外生性毒物：如化學物質、藥物、營養不良產物、感染時的毒素等。

2. 內生性毒物：為機體本身新陳代謝紊亂時，和各器官、各系統功能異常時的產物（與內分泌毒物有關）。

一切中毒的發生可分為兩類：

1. 故意中毒（自殺中毒）。

2. 無意中毒（意外中毒）。

故意中毒的目的在殺害，中世紀時此類中毒非常多，常用白色無臭，幾無味之砒（砷），用多種秘密的，魔術式的方法，導入組織內，以達到殺害的目的。

無意中毒者，由於：

1. 職業關係，如汞、鉛，及其他毒物的工作者；

2. 經常食用品質不良食物的；

3. 住所的爐灶及暖氣裝置錯誤所致之中毒；

4. 住所消毒後，或驅除害蟲後，通風不良者；

5. 住宅的糊壁紙含有毒質顏料者（如含巴黎綠）；

6. 日常生活中，清潔住所，洗濯內衣時，使用藥劑不小心或錯誤，以致中毒者（如誤飲苛性蘇打中毒）。